

特集

周産期救急で助産師が できること

周産期救急で特に押さえておきたい急変対応

①産科出血への対応

鈴木 真

②死戦期帝王切開への対応

中山 理

③肩甲難産への対応

吉富智幸

④子癇発作への対応

田嶋 敦

ALSO と助産師①

青木まり子

ALSO と助産師②

日戸千恵

ALSO についての最新情報と助産師への期待

新井隆成

日本母体救命システム普及協議会(J-CIMELS)の発足と
認定制度について

岡井 崇

連載

私たちの仕事場 [9] さめじまボンディングクリニック

宝物, 教えてください [9]

富田江里子

『産み育てと助産の歴史』から見える未来 [2]

菊地 栄

NTT 東日本関東病院 CNS が支えた 助産師のチャレンジ [3]

長坂桂子, ほか

未来の助産師を育てています わたしたちの教育現場 [20]

あびこ助産師専門学校

ほんとうに確かなことから考える 妊娠・出産・子育てのはなし [14]

森臨太郎, 森 享子

ワタナベダイチ式! 両親学級のつくり方 [4]

渡辺大地

助産研究をしよう 基本を押さえて臨床で活かす! [10]

福澤(岸)利江子

りれー随筆 [382]

中谷良子

編集後記

い つか組みたいと思っていたオキシトシンの特集。オキシトシンを意識して
からというもの、その言動から「この人、オキシトシンが全然出てないな」
と引いたり、片や助産師さんと接していると、「なんてオキシトシンにあふれて
いるんだろう」と心地よくなったり。自分の気持ちの変化が面白いです。助産
師自身のオキシトシン分泌が妊産婦ケアに影響することがよくわかります。

(竹内)

連 載「両親学級のつくり方」第3回では、男女が同席する講義におけるディ
スカッションの難しさが語られています。参加者の発言の奥にある意図を
汲み取り、的確な補助線を引いてあげることで父親-母親間の意見交換を有意
義なものにしている渡辺さんの手腕がお見事で、気づけば1人の読者になって
読み進めていました。日常の何気ないやり取りのなかで無数に生じているであろ
う齟齬を紐解く参考になりたいです。

(金澤)

助産雑誌 第70巻 第9号
2016年9月25日発行(毎月1回発行)

発行

株式会社医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2016, Printed in Japan

1部定価

本体1,400円+税

2016年間購読料(送料弊社負担)

冊子版 14,880円+税

冊子+電子版/個人 17,880円+税

電子版/個人 14,880円+税

冊子版/学生割引 12,000円+税

冊子+電子版/学生割引 15,000円+税

電子版/学生割引 12,000円+税

編集室

☎ 03-3817-5773 ☎ 03-5804-0485

✉ josanzasshi@igaku-shoin.co.jp

担当 竹内/金澤/伊藤

販売部販売課

☎ 03-3817-5659

医学書院ホームページ

<http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映
権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は
株式会社医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジ
タルデータ化など)は、「私的使用のための複製」な
ど著作権法上の限られた例外を除き禁じられていま
す。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業
務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記
の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であ
っても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使
用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者
に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

【JCOPY】(出版者著作権管理機構 委託出版物)
本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じら
れています。複製される場合は、そのつど事前に、
出版者著作権管理機構(☎ 03-3513-6969, ☎ 03-
3513-6979, ✉ info@jcopy.or.jp)の許諾を得てくださ
い。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記載さ
れた[1347-8168/16/紙: ¥500/電子: ¥750/論文/
JCOPY]は、1論文1回複製の料金を明示したもの
です。これは表示のない論文等にも適用されます。
JCOPYへのご連絡の際には、筆頭執筆者名・論文
名と併せて本表示をご提示くださるようお願いし
ます。

*「助産雑誌」は、株式会社医学書院の登録商標です。

f アカウントをおもちの方は「助産雑誌」で
検索していただき、「いいね!」をお願いします。
<https://www.facebook.com/josanzasshi>

🐦 フォローをお願いします。
twitter アカウントは @josanzasshi です。